

KODAK
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Green 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Yellow 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Red 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Magenta 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
White 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
3/Color 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Black 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
B 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

改正日本地誌要畧

人槻修三著述

一一

卷二
東海道
海 道
關 東
小笠原島

ル 3
3650
2



門 九 3
號 3650
卷 2

改正日本地誌要略卷之二

東京大槻修二著



東海道中三
國東ノ常陸
九ノ地味更
ニ二總ノ總
國ナリ

伊賀伊勢志摩尾張三河遠江駿河甲斐伊豆相摸武藏安房
上總下總常陸ノ十五國ヲ東海道トナス西ハ畿内及南海
道ニ接シ東南共ニ太平洋ニ向ヒテ東ニ亘ル百三十里故
ニ海道ノ稱アリ北ハ山脈ヲ限リテ東山道ト境界ヲ分ツ
然下モ尾張及關東諸國ハ平野互ニ相交リテ木曾利根ノ
兩大河ヲ其經界トナセリ伊賀甲斐ハ共ニ山間ノ小國ニ
シテ志摩伊豆各洋中ニ出デ東西相對シテ其海上ヲ遠江
灘ト云フ又伊勢三河駿河ノ三内海アリ關東ハ相摸以下

遠州灘日本
海ナリ

改正日本地誌要略 卷之二 東海道

伊賀ハ伊勢
津彦ト云ク
位マシテ
故伊賀ト云フ
曰クニソリ
ナリ

伊賀
伊賀

六國及山道ノ上野下野ヲ并セテ古ヨリ坂東又山東ト
呼ビ自一區域ヲナセバ別ニ八州ヲ一部トセリ

伊賀四郡

山城大和伊勢及近江ノ間ニ夾ル小國ニシテ連山相圍ミ
内地モ赤岩尾中瀬岩倉等ノ溪谷アリテ河岸ノ地僅ニ平
坦ナルノミ上野名張ノ兩邑アリ上野ハ伊賀越ノ要路ニ
當リテ人口一萬二千アリ伊賀越ハ伊勢ノ關ヨリ大和ノ
奈良ニ至ル路程十八里即上世ノ官道ナリ
三國山ハ南隅ニ立チ尼岳首岳及元取布引長野ノ諸山其
東ニ並ビテ伊勢ノ境ニ連ル西ハ大和ノ宇陀山邊ノ兩郡
ト土地相交ルモ茶臼山鷹塚山等自國境ニ列レリ正北ハ

油日山篠岳高旗山等群山相重リテ近江ノ信樂谷及伊勢
ノ加太谷ニ接ス其西ノ山城ニ接スル處ハ即伊賀越ノ通
路ニシテ伊賀名張ノ兩川其間ヨリ西ニ流レテ山城川ト
ナル○柘植川ハ加太谷ニ出テ河合川ハ信樂谷ヨリ來リ
相合ヒテ西南ニ流ル服部川ハ布引山ニ發シテ東ヨリ來
リ相會シテ上野川ト云フ其流十五里又首岳ニ發源スル
長田川ニ會シテ伊賀川ノ稱アリ名張川ハ東西兩源アリ
其二名張ニ會シテ北流十二里月瀬尾山ノ際ヲ流レテ差
月川ト呼ブ其西源ハ即宇陀川ニシテ赤目四十八瀧ノ下
流ヲ并ス東源ハ夏見川ト云ヒテ尼岳ヨリ流レ來ル兩川
相合フ處ハ梁瀬川ノ稱アリ○差月川ノ兩岸ハ十餘里ノ

伊賀

間、悉梅樹ニシテ、謂ユル月瀬ノ梅是ナリ、

伊勢十三郡

垂仁帝二十五年、天照大神ヲ、大和ノ笠縫邑ヨリ、此國ノ宇治ニ奉遷シテ、皇太神宮ト稱ス。是ヲ内宮ト云フ。其後雄略二十二年、豐受大神ヲ、丹波ノ真名井原ヨリ、山田ニ遷シテ、外宮ト云フ。此二郷ハ、國ノ南隅ナリ、宮川其北ヲ環レバ、川内ト稱シテ、他郷ト異ニス。古市川崎等、街市相連ル。一里人口二萬二千アリテ、郷人自神都ト稱ス。諸國ノ人常ニ來リテ、兩神宮ニ參拜スル者、毎歲數萬是ヲ參宮ト呼ベリ。南ハ朝熊山、神路山、相並ビテ、志摩ノ境ニ亘ル。東ハ内海ノ濱ニ臨ミテ、大湊ニ見浦等相連ル。二見ノ立石、海中ニ雙立シ

伊勢ノ神代時
伊勢津彦ト云
國常立命ヲ
祀ルト云ハ非
リ也
与謝野奉祀
ヤリ
伊勢ノ神
住ノ神

テ、最有名ノ勝地タリ、

内海ハ、伊勢海ト云フ。尾張ト相抱キテ、相距ル五六里。南北十餘里。海濱ハ、兩國ニ亘リテ、嶋嶼ナク、岬角ナシ。海口ヲ龜嶋瀬戸ト云フ。沿海ハ、平坦三十里。中間ニ鼓浦、阿漕浦アリ。北ヲ霞浦ト呼ビ、南ハ即二見浦ナリ。揖斐川ハ、美濃ヨリ來リ、木曾川ハ、尾張ヨリ來リ、共ニ南流シテ相合ヒ、又長嶋ヲ抱キテ、各内海ニ注グ。是ヲ東北境トナス。

西境ハ、連山一帶、相並ビテ、北ヨリ南ニ亘レリ。即近江ノ伊吹山ヨリ連リ來ル山脈ニシテ、藤原岳、鎌岳、鈴鹿山等相列ル。鈴鹿峠ハ、近江ノ通路ニ當リテ、伊賀ニ跨ル。即高旗山ニシテ、其南麓ハ、加太谷ナリ。此山ハ、天武帝ノ鈴鹿關ヲ置セ

ラレシ舊趾ニシテ、美濃ノ不破及越前ノ愛發ト、三關ト稱セリ、故ニ關驛其山下ニアリテ、東海道及參宮道伊賀越ノ要路ニ當レリ、伊賀ノ境ハ、長野元取及尼岳等ニシテ、大和ノ境ヲ、高見山國見山トナス、大臺原其南隅ニ重リテ、紀伊ニ跨ル、内地ハ、大別シテ、北伊勢南伊勢ト云フ、北勢ハ、東北ニ多度山篠立山アリ、漸西ニ亘リテ、高原相連ル、廣瀨野能褒野ト云フ、能褒野ニ、日本武尊ノ山陵アリ、其西ハ、雞足山筆捨山等相並ビテ、錫杖岳經峯、又其南ニ峙テリ、海濱ハ、揖斐川ノ海口ヲ、桑名ト云フ、尾張ニ渡ル要津ニシテ、一萬八千ノ人口アリ、四日市モ亦人口一萬、近頃波戸ヲ築キテ、大ニ舟泊

ノ便ヲ開キ、常ニ漚船ノ出入アリテ、品物ノ運輸ハ、當國第一ノ大港ト稱ス、且東海道ノ驛路ニシテ、庄野龜山ヲ經テ、鈴鹿ニ至ル者ヲ、正路トシ、又支路ヲ南ニ分チ、神戸白子ヲ經テ、津ニ至ル者ヲ、參宮ノ東路トス、津ハ、安濃津ノ略稱ナリ、國ノ正中ナル一都會ニシテ、人口ニ萬二千アリ、阿漕浦ニ臨ミテ、勢崎ヲ舟泊ノ處トナス、○南勢ハ、堀坂山、高岳、白猪岳ノ三山相並ビテ、以東ハ、地勢平坦ナレバ、常ニ舟人ノ目標トナルト云フ、南ハ、宮川ニ沿ヒテ、明野原アリ、松坂モ亦繁盛ナル街市ニシテ、津山田ノ中間ニ當リ、海濱ハ、大口港ニ接セリ、三山ノ西陰ハ、矢頭、白口等ノ諸山相重リ、村里悉山谷ノ際ニアリ、多氣城址ハ、北畠顯能ガ、南朝ノ命ヲ受

ケテ、國司タリシ居城地ナレバ、尚御所邸ノ名ヲ存セリ、群
山ノ南ハ、大臺原ノ麓ニ亘ル深谷ニシテ、大杉谷ト呼ビ、不
動龍光瀧等、高各數十丈、其ニ宮川ノ源流タリ、其南隅ハ大
洋ニ臨ミテ、紀伊ノ熊野浦ニ連リ、海岸高ク峙チテ、岩礁並
ビ列ル、御寄赤石寄、相對シテ、五箇所灣ヲ抱キ、迫間浦礫港
等、灣内ニ臨ソリ、又方座神前ノ諸港アリ、總テ九十九浦ト
稱シテ、村民皆漁獵ヲ業トス、其志摩ノ南ニ連ルヲ以テ、常
ニ南志摩、或ハ先志摩ト呼ベリ、
一國ノ川流ハ、皆西北ノ連山ヨリ出デ、悉東ニ流レテ、直ニ
内海ニ入ル、故ニ其數甚多キモ、却テ大河ナシ、員辨川ハ、篠
立山ニ出デ、下流ヲ町屋川ト云フ、三岳川ハ、源ヲ鎌岳ニ

發シテ、四日市ニ注グ、鈴鹿川ハ、加太谷ヨリ來リテ、關龜山
ヲ過ギ、御幣川ヲ并セテ、高岡川ノ稱アリ、安濃川ハ、又塔世
川ト云ヒ、錫杖岳ニ發シテ、阿漕浦ニ入ル、其ニ北勢ノ諸流
タリ、南勢ハ、雲津川、其源ヲ尼岳ニ發シ、數川共ニ久居ニ合
ヒテ、辛洲ニ注グ、櫛田川ハ、高見國見ノ兩山ニ出ツル者、相
會シテ、東流十七里、分レテ兩派トナリ、支流ヲ稻木川、又後
川ト云フ、宮川ハ、水源最遠シ、三十二里ニシテ、大湊ノ北ニ
入ル、其源ニ、大杉谷ノ深林アルヲ以テ、水常ニ深シ、故ニ行
舟モ亦上流ニ及ベリ、其他ハ、笹川ノ松坂ノ市中ヲ流レ、五
十鈴川ノ宇治ノ宮前ヲ環ル等アレドモ、其ニ細流ナルノ

志摩 二郡

志摩ハ昔時伊勢三河ノ間ニアル海島リシカハ昔名アリシガ河時カ海ニ崩レ没シタレバ伊勢ノニシテト其國名ニ変ト云フ

國小ニシテ、三面共ニ大洋ニ向ヒ、沿海僅ニ七里餘、最南ヲ麥崎ト云フ、岬前ハ、大小ノ岩礁、並列シテ、其大ナル者ヲ神嶋瀨ト云ヒ、潮流常ニ險惡ナリ、正西ニ向ヒタル一岬ヲ御座崎ト云ヒ、熊野浦ヲ隔テ、紀伊ノ汐御崎ト相望ム、其間三十里、岬陰ハ、海灣深ク入りテ、濱嶋港、其北岸ニ臨ミ、以西ハ、直ニ伊勢ノ南志摩ニ連ル。○大王崎ハ、麥崎ノ東ニ峙ツ者ニシテ、大王岩、其海中ニ屹立セリ、正東ハ、伊豆岬ト相對シテ、直徑六十里、即遠江灘ナリ。○的矢港ハ、鳥羽ト共ニ東ニ向ヒタル港泊ナリ、安乘崎出テ、菅崎ト港口ヲ夾ミ、渡鹿野嶋ハ、灣ノ中央ニ横レリ、港北ニ伊雜神社アリ、其上ヲ

伊雜神ハ延喜式神名帳考証ニ伊佐岐登沃ノ尊及玉柱屋姫ノ祀ト記セリ

青峯トナス、伊勢ト相接シテ、其間ニ九十九谷アリト云フ、下流ハ池田川トナリテ、其灣内ニ注ゲリ、鳥羽港ハ、荅志嶋、菅嶋等、其前面ヲ抱キ、伊良胡岬ト相對シ、神嶋、其中央ニ立チテ、伊勢海ノ門口ヲナス、港内ハ東西兩口アリテ、大船巨舶モ、出入ニ便ナリ、港上ニ日和山アリ、山上ハ、内外海ヲ望ミテ、風雨陰晴ヲ定ムベシ、此地ハ、朝熊山ヲ越エテ、伊勢ノ山田ニ至ル四里、海濱ハ、大湊ト相距ル五里、故ニ南洋中ノ要津トス、五十里ハ、尾張ト相連ル、其地ハ、尾張ハ郡、地勢平坦ニシテ、南ハ内海ニ臨ミ、北ハ美濃ニ連リテ、廣野二十里ニ亘レリ、木曾川、東ヨリ來リテ、兩國ノ間ヲ限リ、西

尾張ハ此國ニ草薙ノ劍ヲ奉祀スルヲ以テ斯ノ名ケント云フモ、又大知ト云フ

ト同義ニシテ、
ト云フ義ナリト云
リ此章可ナク

南ニ流レテ、佐屋川ヲ分テリ、本流ハ、西ニ環リ、伊勢ノ長嶋
ニ至リテ、揖斐川ニ合フ、是ヲ三國ノ境トナス、下流ハ又佐
屋川ヲ弁セテ、數派トナリ、前須ニ至リテ、内海ニ入ル、其流
十二里、源流ヨリ算スレバ、五十里ノ長流ナレドモ、舟運ハ
纔ニ下流ニ通ズルノミ、
小牧山ハ、平野ノ中央ニアル小岡ニシテ、天正中、徳川氏ノ
織田信雄ヲ助ケテ、羽柴氏ト對陣セシ處タリ、此國ハ織田
氏數世ノ領國ニシテ、信長常ニ清須城ニ居リシト云フ、
國ノ東北隅ハ、木曾川ノ岸上ニ一邑アリ、稻置ト云フ、其東
ハ、繼鹿尾、本宮、小富士ノ諸山アレドモ、皆高峻ナラズ、山際
ニ入鹿池アリ、周回三里、下流ハ水田十萬石ニ溉ゲト云フ、

美濃、三河ト相接スル處ハ、三國嶺、雲見峯等アリ、其邊ハ樹
木繁生シテ、小金山、前山、白山等ノ山林アリ、中間ノ一邑ヲ
瀬戸ト云フ、磁器製造ノ業、最有名ノ處タリ、連岡一帯、南ニ
連リテ、兩村山トナリ、遂ニ海中ニ出ヅルヲ十八里、是ヲ知
多郡トナス、○知多ハ、南ニ出デタル半嶋ナリ、西面ハ、伊勢
海ニ臨ミテ、大野常滑ノ諸邑アリ、東面モ亦三河海ヲ衣浦
ト呼ビテ半田港アリ、最南ノ端ヲ、羽豆崎ト云ヒ、岬陰ヲ師
崎港トナス、篠嶋、日間賀嶋等、岬前ニ並ビテ、三河ノ伊良胡
崎ト、相距ル甚近ニ、郡中ハ、地味膏沃ニシテ、米穀魚鹽ノ利
アリ、
庄内川ハ、上流ヲ玉野川ト云フ、美濃ノ土岐川、三河ノ猿投

川山林ノ間ニ相合ヒテ西ニ下リ矢田川ヲ并セテ南ニ繞
リ兩派トナリテ支流コ一色川ト云フ本流ハ枇杷嶋ヲ過
ギテ内海ニ入ル其流二十二里是ヲ此國ノ大川トナス其
他平野ノ間ヲ環リ流ル者ハ五條川日光川等皆木曾川
ヲ引キテ田畝ノ用水ニ供フル者タリ

名古屋區ハ全國第四ノ大都會ニシテ人口十三萬アリ街
市ハ東西一里南ハ熱田ニ連リテ二里ニ亘ル本城ハ慶長
十五年德川義直ガ新ニ築造セシ有名ノ城壁ニシテ城内
ニ鎮臺本營ヲ置ク本町京町傳馬町ヲ通街トナシ西ハ枇
杷嶋橋ヲ庄内川ニ架ケテ清須ト相距ル一里又堀川ヲ南
ニ通ズル一里餘潮流相通ジテ内海ノ運漕ニ便ニセリ熱

熱田社、草薙劍日
本武尊宮津姫
祀ニシテ尾張ノ
國造、娘ニシテ日本
武尊ノ宮姫タリ
草薙劍ノ時此處ニ
立宮ラシメ所奉劍
之ヲ熱田ニ奉祀ス
今ノ熱田社ナリ
後日本武尊宮津
姫ヲ併祀ス

田ハ内海ニ臨ミタル街市ニシテ人口一萬東海道ノ驛路
ニ當リテ又中山道北國道ノ要路ヲ受ク熱田神宮アレバ
宮トノミ呼ベリ神宮ハ草薙劍ヲ奉祀シテ伊勢神宮ト並
稱ス官幣大社ナリ海濱ハ愛智瀉ト呼ビテ保田ヲ舟泊ノ
處トナス伊勢ノ桑名ヘ海上七里是ヲ官道ノ渡津トナセ
シガ近來海濱ニ沿ヒテ新路ヲ開キ前須ニ至ル五里半更
ニ木曾川ノ舟路ニ里アリ其舊道ハ佐屋廻ト云フ佐屋川
ニ臨ミタル津嶋ヨリ河舟三里ヲ通ゼシト云フ津嶋神社
ハ土俗ニ牛頭天王ト呼ブ大社ナリ大室川ヲ舟ヲ西風
三河ハ郡
矢矧大平及豊川ノ三大河ヲ國名ノ起原トナス矢矧川最

大ナリ、其流、二十二里、源ヲ信濃ニ發シテ、美濃ノ境ヲ限リ、
轉シテ南ニ下リ、足助川ヲ并セテ、岡崎ニ至ル、矢矧橋ヲ架
ケテ、海道中ノ長橋ト稱ス、橋下ニテ、大屋川ヲ并セ、西尾ヲ
過ギテ、平坂港ノ北ニ注グ、豊川ハ神田山ヨリ出デ、國ノ
東隅ヲ南ニ流ル、十七里、寒狭川ヲ長篠ニ合ス、此地ハ武
田、徳川兩氏ノ古戰場タリ、川流ハ、鳶巢山ノ麓ヲ流レ、本野
原ニ沿ヒテ、吉田ニ至ル、官道ニ長橋ヲ架ケテ、豊橋ト云フ、
橋下ハ、即河口ナリ、大平川ハ、猿投山ヨリ出デ、南流十里、
刈谷ヲ過ギテ、大濱ニ注グ、其尾張ノ境ヲ流ル、ヲ以テ、常
ニ界川ト呼ビシヨリ、今ハ大屋川ヲ指シテ、大平川ト稱セ
リ、

本宮岳ハ、國ノ中央ニ峙チ、其西南ハ、宮路、桑谷等ノ連山ア
リテ、内海ノ北岸ニ列ル、本宮岳ノ東麓ヲ本野原トナス、原
中ノ一路ハ、遠江ニ達スル本坂越ニシテ、海道ノ支路タリ、
鳳來寺山ハ、煙巖山ト號シテ、高ク、其北ニ聳エ、後山ハ神田
段戸、大多賀ノ諸山、相重リテ、信濃、美濃ノ際ニ接セリ、正西
ハ、猿投山、高ク、峙チテ、尾張ノ境ヲ限レリ、○鳶巢山ハ、阿寺
山、嵩山下、相並ビテ、遠江ノ境ニ列リ、南ニ亘リテ、國ノ東境
ヲ限ル、石卷山ハ、其連山ノ南ニ立チ、是ヨリ折レテ、西ニ亘
ル十三里、是ヲ渥美郡トナス、○那智山ハ、吉田崎、平野大
渥美郡ハ、正南全ク大洋ヲ受ク、即遠江灘ニシテ、風浪常ニ
險惡ナリ、田原山ハ、中央ニ立チテ、西端ヲ伊良胡崎トナス、

文三ノ内記各
卷之二三河

西ハ志摩ノ答志嶋ト、神嶋瀬戸ヲ夾メリ、又北ハ尾張ノ羽豆崎ト、相對シテ、兩海峽ハ中間各三里ヲ隔ツ、郡ノ北面ハ三河海ヲ抱キ、其中ニ佐久嶋、竹嶋等アリ、吉田、御馬平坂、大濱ノ四港ハ、其ニ其北岸ニ臨ミテ、平坂、大濱最運輸ノ利アリト云フ、

岡崎ハ海道中ノ大邑ニシテ、二萬ノ人口アリ、名古屋ト相距ル十里、又東北ノ一路ハ、足助ヲ歷テ、信濃ノ飯田ニ達スベシ、吉田ハ、豊橋ト改稱シテ、亦官道ノ驛路ニ當レリ、

遠江 十二郡

濱名湖ハ、國ノ西南隅ニシテ、東西四里、南北ハ五里許、沿回二十里、高師山、木坂山等、其西岸ニ並ビ、一灣深ク北ニ入ル

者ハ、郡名ヲ呼ビテ、引佐細江ト云フ、其北隅ヲ氣賀トナス、湖中ハ風景明美ニシテ、近江ノ湖水ト、并稱セシ處ナレバ、國名モ亦相對シテ、此號アリト云フ、往時ハ、湖水南ニ流レテ、一河ヲナシ、濱名橋アリシモ、明應八年、地大ニ震ヒシ時、湖口崩レテ、海水相通ゼリ、其間一里、今切ト稱スレバ、今ハ内海トナリタリ、然レ海口ニ里餘ノ長橋ヲ架ケテ往來ヲ通ズ、全國第一ノ長橋タリ、其西岸ニ濱名港アリ、

此國ノ三面ハ、連山相圍ミテ、正南ハ大洋ニ向フ、即志摩伊豆ノ間ニ當リテ、遠江灘七十五里ト云ヒ、又遠州灘ト呼ブ者是ナリ、御前崎其中央ニ突出スルノ二里、岩礁並立シテ、大ナル者ヲ、沖ノ御前ト云フ、海岸ハ志留波磯ト呼ビ、激浪

常ニ起リテ、舟行甚艱ム、岬ヨリ東ハ、駿河ニ亘リテ、釘浦ト云ヒ、大井川ヲ兩國ノ境トナセリ、一國ノ海濱ハ、平砂二十五里、松林其上ニ連レリ、且國內モ中央以南ハ、廣原甚多ク、東ニ布引原アリ、中間ニ磐田原アリ、西ハ三方原ト呼ビテ、頗大ナリ、古ハ引馬野ト稱セリ、濱松ハ原ノ南隅ナル大邑ニシテ、東西兩京路程ノ正中ニ當リテ、人口一萬アリ、其西ニ佐鳴湖アリテ、更ニ小渠ヲ通ジテ、内海ヨリ、舟運ヲ濱名港ニ達セシム、又原中ノ一路ハ、氣賀本坂ヲ歷テ、三河ニ至ル者ヲ、本坂越ト云フ、

秋葉山ハ、國ノ中央ニ立チテ、本宮山、光明山、其前ニ並列シ、山北ハ山住山、孖生山等、深山、幽谷相重ル、十餘里ニシテ、

信濃ノ惠儀岳ニ連リ、其間總テ人跡ノ到ラザル處ニシテ、青崩峠僅ニ兩國ノ通路ヲナスノミ、山岳ノ高峻ナルハ、實ニ海道中ノ第一ナリ、東境モ、亦不動岳、朝日山、大日山等、相連リテ、南ニ亘リ、八高山、尾美岳等、相並ブ、連山ノ東麓ハ、即大井川ナリ、粟岳ハ俗ニ無間山ト云フ、其南端ニ峙チテ、以南ハ、山圍ノ既ニ解クルヲ以テ、常ニ海路ノ目標トナルト云フ、佐夜中山、富田山等ハ、粟岳ノ麓ヨリ、相連リテ、海岸ニ至リ、小笠、高天神ノ兩山トナル、高天神山ノ麓ハ、横須賀ノ城市ニシテ、舟泊ノ處ナリシガ、寶永中ノ震災ニ、港口塞リテ、海港ヲナサズ、

天龍川ハ、信濃ノ諏訪湖ノ下流ニシテ、國ノ西北隅ヲ流レ、

東ニ轉ジテ、朽生氣田ノ諸川ヲ并セ、秋葉山ノ西麓ヨリ、直ニ國ノ中央ヲ貫キテ、南ニ下ル、其流三十里、分レテ大天龍、小天龍トナリ、共ニ掛塚港ニ注グ、湖口ヨリ海口ニ至ル六十里、水流頗急、駿ナレドモ、行舟ハ遙ニ上流ニ及ブ、官道ニ六百間ノ長橋ヲ架セリ、吉川ハ尾美山ニ出デ、敷智川ハ本宮山ヨリ來リ、相合ヒテ、大田川ト云フ、其流二十里、二瀬川ハ粟岳ニ發シ、官道ニ沿ヒテ、掛川、袋井ヲ過ギ、相會シテ、福田港ニ注グ、福田掛塚ノ兩港ハ、共ニ河口ナレバ、水淺クシテ、大船ヲ留ムルヲ能ハズト云フ、

駿河七郡

富士山、直立一千二百丈、北ハ甲斐ニ跨リ、八峯並列シテ、四

面其形ヲ同ジクス、實ニ海内無雙ノ名山ニシテ、我國第一ノ高岳ナリ、常ニ富岳ト呼ブ、山路三條、其北面ヲ吉田口ト云ヒ、南面ヲ大宮口ト云フ、其東面ハ直走ト呼ビ、山頂ヨリ直下一走シテ、中腰ニ至ルベシ、此山ハ噴火山ノ休廢セシ者ニシテ、頂上ニ洞穴アリ、即寶永中ニ、山火大ニ噴出セシ時、東面ノ山腹ニ、一峯ヲ起セリ、故ニ寶永山ト呼ブ、○岳ノ南麓ハ、裾野ト呼ビ、廣原六里ニ亘ル、愛鷹山ハ其間ニ立チ、形ヲ以テ鋸岳ト云フ、其麓モ亦平坦數里ニシテ、直ニ海濱ニ至ル、是ヲ浮嶋原ト云ヒ、原中ノ須戸湖ハ、富士八湖ノ一ニシテ、今ハ富士沼ト呼ブ、其海濱ヲ田子浦ト云フ、○足柄箱根ノ連山ハ、富岳ノ東ヨリ連リテ、相摸ノ境ニ並ビ、南ニ

亘リテ、關東ノ經界ヲ限レリ、此國ノ海ハ、伊豆遠江ノ間ニ夾リテ、一ノ内海ヲナセバ、駿河海ノ稱アリ、其沿岸二十餘里、正中ハ田子浦ニシテ、東ノ一灣ハ、伊豆ノ江梨崎、其前面ヲ抱キテ、江浦ト云フ、黄瀬川ハ、足柄山ノ麓ヨリ來リ、伊豆ノ狩野川ト共ニ注ギ入ル、其海口ヲ沼津港トナス、人口一萬アリ、又西ノ一灣ハ、清見瀉ト云ヒ、薩陀山及清見寺、龍華寺等、共ニ富岳ヲ眺望スル勝地タリ、長洲一帶、其南ニ出デ、白砂翠松、相連ル、一里餘、三保松原ト呼ビテ、有名ノ勝地タリ、興津江尻ノ兩川共ニ灣内ニ注ギ、江尻川ノ海口ヲ、清水港トナス、久能山港西ニ峙キテ、外海ニ臨ミ、其山麓ノ海濱ハ、平坦ニシテ、大井川ノ

海口ニ至ル數里、即釘浦ナリ、西北ニ面ハ、其ニ計數ニ白富士川ハ、羽前最上川、肥後球摩川ト、三急河ノ稱アリ、甲斐ヨリ來リテ、富岳ノ西麓ヲ貫キ、白絲瀧ノ下流ヲ合セテ、田子浦ニ注グ、國境ハ、兩岸高ク逼リテ、其流瀑布ノ如シ、安倍川モ、亦急流ニテ、南ニ流ル、二十里、藁科川ヲ蘆久保ニ合セ、静岡ヲ過ギテ、海ニ入ル、大井川ハ、南流四十里、海道一ノ大河ト稱スルモ、重山ノ溪谷、相會流セル水路ナレバ、平時ハ、行路ノ人、徒歩シテ、渡ルベシ、然レ、雨後ノ出水ニ逢ヘバ、河幅凡、一里許、近來長橋架設ノ舉、方ニ成ル、安倍大井兩河ノ源泉ハ、甲斐信濃遠江ト、相接セル深谷ニシテ、山岳相重リテ、國境ハ、其二通路ナクシテ、大日岳七峯等相並ビ、連山

遂ニ南ニ亘リテ、兩河ノ流路ヲ分チ、高根山頗高シ、其脈ノ南端ヲ宇津谷トス、官道ニ當ル山路ナリシガ、數年前洞道ヲ穿チテ、大ニ車馬通行ノ便ヲ開ケリ、

静岡ハ、中世國府ノ地ナレバ、府中ト稱シ、因テ駿府ト呼ビシガ、明治元年、今稱ニ改メタリ、人口三萬アリテ、國中ノ一都會トナス、清水港ト相距ル三里、道路平坦ニシテ、運輸ノ便アリ、安倍川橋ハ、其長三百間、近來新架セシ所ニシテ、頗壯大ナリ、賤機山ハ、城北ノ高岡ニシテ、麓ニ淺機沼アリ、其下流ノ巴川ハ、即江尻川ナリ、

甲斐 四郡

富岳ノ後陰ニアル山國ニシテ、西北ニ面ハ、其二信濃ニ包

レ、駒岳地藏岳鳳凰山七面山等、其二西境ニ並ビテ、南隅ヲ身延山ト云フ、其中央ニ立チテ、最高キ者ヲ、白峯トナス、連山ノ際ハ、人跡ヲ通ゼザルノ數里、北境モ、亦深山相重リテ、八岳茅岳等相並ビ、金峯山殊ニ峻秀ナリ、其後山ハ、奥仙丈岳ト總稱シテ、武藏ノ秩父山ニ連リ、國境ヲ雁坂峠トナス、大菩薩峠ハ、其東南ナル山路ニシテ、連山更ニ西南ニ亘リ、初鹿野山天目山萩原山笹子峠御坂峠等、相列リテ、國ノ中央ヲ限リ、十二岳ニ接シテ、富岳ノ麓ニ連ル、此山脈ヲ以テ、國內ハ、東西兩地ニ分レタリ、

甲府ハ、西地ノ中央ナル一都會ニシテ、人口一萬五千アリ、其左右ハ、地勢平坦ニシテ、四方六七里ニ亘レリ、此國ハ、武

田氏相傳フル四十世信玄ニ至リテ、近鄰數國ヲ威服セシ
モ、城郭ヲ設ケズ、居館ノ址ハ、古府ト稱シテ、甲府ノ北ニ接
セリ、巴山其上ニ立チテ、山下ニ酒折宮アリ、信玄ノ子勝頼
始テ一城ヲ葺崎ニ築キ、新府ト云ヒシガ、天正十年、織田氏
ノ來リ攻ムル時、天目山ニ逃レテ自殺セリ、然レ、土人尚武
田氏ノ遺徳ヲ慕フト云フ、今ノ府城ハ、慶長中、淺野長政ガ
築造セシ所タリ、

水流四方ヨリ來ル者、平野ノ間ニ集リ、市川大門ニ至リテ
一河トナリ、南ニ流レテ、駿河ニ入ル、富士川是ナリ、其源流
最遠キ者ヲ、笛吹川トナス、又子西川ト云フ、奥仙丈岳ニ發
源シ、西ニ向ヒテ、流レ下ル、二十里、上流ハ、兩岸絶壁ニシテ、

水流甚急ナリ、重川ハ源ヲ萩原山ニ發シ、日川ハ天目山ニ
出テ、石和川ハ、御坂峠ヨリ來レリ、荒川ハ、金峯山ノ水ヲ集
メテ、南流十里、數川皆甲府ノ南ニ至リテ、笛吹川ニ入ル、釜
梨川ハ、駒岳ヨリ發シテ、教來石臺原ヲ過ギテ、東南ニ流ル
ル十七里、二邑ハ、信濃ノ驛路ニシテ、其北岸ハ、斷崖數里、屏
風ヲ列ヌルガ如ク、葺崎ニ至リテ盡ク、七里岩ト云フ、鹽川
ハ八岳ノ溪流ヲ并セ、南流十一里ニシテ、葺崎ニ會ス、蘆川
ハ十二岳ノ峽際ニ發シテ、山谷ノ間ヲ穿チ下ル、七里、蛾岳
ノ下ヲ繞リ、其山上ナル四尾連湖ノ下流ヲ并セテ、西南ニ
流ル、笛吹釜梨及蘆川ノ三河相會シテ、富士川ト稱ス、其西
岸ヲ鰍澤ト云フ、甲府ノ西南四里ニシテ、下流始テ舟行ヲ

通ズベシ、奔流十八里ニシテ、海口ニ達ス、禹瀨屏風岩等ハ、
 兩岸相逼リテ、水流急駿ナリ、慶長中、河道開鑿ノ功ヲ起シ
 テ、始テ運輸ノ利ヲ開キシト云フ、
 都留郡ハ、即國ノ東地ニシテ、郡内ト稱ス、平地甚少ク、相摸
 ト接シテ、東南隅ナル、道志秋山ハ、中世同國ニ屬セシコトア
 リト云フ、水流皆東ニ流レテ、相摸川トナル、郡中ノ一邑ヲ
 谷村ト云フ、笹子峠ヨリ、花咲猿橋ノ驛路ハ、相摸路ニシテ、
 東京ニ通ズル甲州街道タリ、又御坂峠ヨリ、川口吉田山中
 ヲ經ル者ハ、駿河路ナリ、其正南ハ、富士裾野ト呼ビテ、吉田
 ヲ登山ノ門口トナス、荒原七里ニ亘リ、悉燒土ニシテ、五穀
 ヲ生セス、其間ニ數箇ノ湖水アリ、西ニアル者皆小ナリ、西

湖精進湖本巢湖ト云フ、東ニアル者漸大トリ、川口湖山中
 湖ト云フ、其二周回四里許以上五湖ハ、四尾連湖ト其二富
 士八湖ニ屬ス、各湖ノ水皆伏流トナリテ、蘆川ニ入ル、惟山
 中湖ノ下流ハ、桂川トナリ、花咲都留ノ諸川ヲ并セテ、東ニ
 流ル、十三里、是ヲ相摸川トナス、其官道ニ一橋ヲ架ク、即
 猿橋ナリ、兩岸高ク逼リテ、深淵數十丈、左右ヨリ層架シテ、
 一柱ヲ用キズ、其製造最奇巧ヲ極メタリト云フ、

伊豆四郡

南洋中ニ出ヅル十五里、故ニ國名ヲ伊豆ト云フ、北ハ相摸
 駿河ニ接シ、足柄箱根ノ山脈、正北ヨリ來リテ、國ノ中央ニ
 亘ル、其高ク且大ナル者ヲ、天城山トナス、山中最良材ニ富

ノリ、而テ四郡ノ地、共ニ其山ヲ繞リテ、外洋ニ向フ、沿海六
 十里、最南ヲ石廊崎ト云ヒ、又伊豆岬ト呼ブ、奇巖高ク、峙チ
 テ、激浪常ニ怒號ス、岬端ニ燈臺アリ、蓋富士山ノ脈、南ニ向
 ヒテ走ル者、此岬ニ至リテ切斷セシガ、其餘勢尚海上ニ出
 没シテ七嶋トナリ、小笠原嶋ニ連リテ、遙ニ太平洋ニ散布
 セリ、

川流ハ、皆天城山ヨリ出ヅル者ナレドモ、大川ナシ、河津川
 仁科川ハ、東西ニ分流シテ、各外洋ニ入ル、稻生澤川ハ、南ニ
 流レテ、下田港ニ注ゲリ、狩野川ハ、稍大ナリ、北ニ流ル、十
 里、修禪寺川ヲ合セテ、北條ヲ過ギ、駿河ニ入リテ、沼津港ニ
 注グ、河岸ノ地ハ、兩國ニ亘リテ、漸平坦ナリ、北條ノ東ヲ並

山ト云フ、伊勢長氏ノ城趾アリ、正北ニ里ヲ三嶋トナス、海
 道ノ驛路ニシテ、三嶋神社ハ、官幣大社ナリ、其地ハ、箱根山
 ノ麓ニ當リテ、嶺上ヲ相摸ノ境トナシ、西ハ平路一里半ニ
 シテ、沼津ニ至ル、其海灣ハ、即江浦ニテ、一岬西ニ出ヅル者
 ヲ江梨崎トス、
 此國ハ火山ノ脈ニ當レバ、岩石大率焚餘ノ燒石ナリ、故ニ
 相疊リタル者ハ、皆黒キ山峯ヲナスト云フ、且温泉甚多ク
 シテ、浴場三十餘處ヲ設ク、中央ニ修禪寺湯嶋アリ、西岸ニ
 土肥アリ、東岸最盛ニシテ、伊豆山ニ走湯アリ、伊東ニ和田
 松原アリ、熱海殊ニ奇泉ト稱ス、沸キ出ヅルヲ晝夜六回嘗
 テ其期ヲ違ヘズ、且此地ハ、玄峯、弦卷山、日金山等、西北ニ列

リテ伊豆山ニ接シ、東南ハ網代ノ灣、川名ノ岬相抱キテ、相摸灘ニ向ヒ、初嶋其前面ニ横リテ、風色モ亦佳ナリ、下田ハ有名ノ良港ナリ、海口ハ兩岸相夾ミテ、睢鳩嶋其中央ニ立チ、灣内水深クシテ、大船巨艦モ碇泊スベシ、港外又小灣アリテ、梯崎ト云フ、爪木崎正東ニ突出シ、大嶋ヲ中間ニ置キテ、遙ニ安房ノ岬ト相望ム、港ヨリ南ハ海岸ニ沿ヒテ、石廊崎ニ至ル三里、其間モ亦岩礁並ビ峙チテ、潮流急激ナリ、神子元嶋ニ燈臺ヲ建テ、暗夜ノ舟行ヲシテ、此險ニ觸レザラシムト云フ、
七嶋ハ、大嶋、新嶋、利嶋、及神津、三宅、三倉、八丈ヲ云フ、南洋中ノ群嶋ニシテ、下田ノ東南四十餘里ノ間ニ並ビ、其嶋峯ハ

七嶋
大嶋、新嶋、利嶋、
式根嶋、神津嶋、
三宅嶋、三倉嶋

大率噴火山ニシテ、其高ハ二百丈ニ及ベリ、其近クシテ且大ナル者ヲ大嶋トナス、周回十里、爪木崎ノ正東八里半ニアリ、三原山常ニ硫焰ヲ吐ク、其沿崖ハ絶壁ニシテ、東北ノ小灣ヲ波浮ト呼ビ、僅ニ舟泊ノ用ニ堪フ、利嶋ハ、大嶋ノ西南四里ニアリ、宮塚山其中央ニ聳エ、嶋中清泉ニ乏シク、潮水雨水ヲ用キルト云フ、新嶋ハ周回六里、下田ノ東南十里ニ立チ、式根嶋其南ニ接スレドモ、居民ナシ、惟樹木繁生シテ、薪材ニ富メリ、此兩嶋ハ元同嶋ナリシガ、震災ニ遇ヒテ、兩斷セシ者ト云フ、神津嶋ハ、天城山高ク秀テ、全峯白砂ニシテ、雪山ノ如シ、新嶋ノ南三里ヲ隔テ、其間ハ恩馳、砥苗等ノ屬嶼アルモ、皆岩礁ノ屹立セル者ナリ、三宅嶋ハ、大嶋

二次グ大嶋ニシテ、周回八里、其峯ハ雄山ト呼ベル噴火山ニシテ、新嶋ト相距ル十里、其正西ノ海中ニ巨岩ノ並立スル者ヲ、三本岳ト云フ、三倉嶋ハ、正南五里ニ立チ、周回七里ナレドモ、四面絶壁ニシテ、舟ヲ繋ゲテ能ハズ、多ク黄楊樹ヲ産スルノミ、總テ此群嶋ハ、海中ノ絶地ニシテ、風土荒僻ナレバ、居民合セテ一萬ニ充タズ、僅ニ漁獵ヲ常務トスレドモ、其間又蠶桑ノ業アリト云フ、
八丈嶋ハ、小嶋青嶋ノ兩屬嶋アリ、三嶋ノ人口一萬餘ニシテ、女ハ男ニ三倍セリト云フ、氣候ノ暖熱ナルト、民俗ノ淳樸ナルハ、自絶嶋中ノ一佳郷タリ、男ハ農耕漁樵ヲ事トシ、女ハ養蠶紡織ヲ業トシテ、最上ノ絹布及紬ヲ産物トナス、

下田ノ正南四十七里ヲ隔テ、三倉嶋ト相距ル二十里、其中間ハ、海水東ニ奔リテ、潮流恰急河ノ如シ、其幅二十町許、舟人ハ黒瀬川ト呼ビテ、最警戒セル處トナス、八丈嶋ハ、周回十里、沿岸悉斷崖ニシテ、舟泊ニ便ナラズ、東山、西山ノ兩峯アリ、西山特ニ高峻ニシテ、直立二百八十丈、甌峯ト云ヒ、形ヲ以テ、八丈富士ト呼ブ、亦噴火山ナリ、小嶋ノ峯ハ、其西一里ニ立チ、相對シテ、其高ヲ争フ、嶋ノ沿回二里許、八郎爲朝ノ祠アリテ、嶋民ノ尊崇スル處トス、青嶋ハ、正南十一里ニ孤立シテ、周回五里、古ハ鬼嶋ト呼ビシ者、是ナリ、往年山火噴出シテ、全嶋悉燒滅セシガ、近來再開墾ニ就キテ、二百五十口ノ居民アリ、

小笠原嶋ハ、太平洋中ニ散布セル十餘箇ノ群嶋ニシテ、北緯二十六度半ヨリ、二十七度半ノ間ニ列リ、伊豆岬ノ東南二百三十里ニ在リテ、ハ丈嶋ト、相距ル百八十里、群嶋ノ形勢ハ、南北ニ亘リテ、父嶋、母嶋、及、聳嶋ノ三區別ヲナセリ、文祿二年、小笠原貞頼始テ此嶋ヲ發見シテ、諸嶋ノ名稱ヲ定メ、且、木標ヲ建テ、其所領タルヲ記ス、故ニ此名アリ、然レ、爾來居民ナケレバ、世ニ人無嶋ト稱シ、或ハ巽無人嶋ト呼ベリ、天保中ヨリ、外國人ノ來リ住スル者、稍多シ、文久中、幕府吏人ヲ遣リテ、其地ヲ開カシメシガ、僅ニ二年ニシテ中止ス、明治九年、諸嶋我全屬ノ地ト定リタレバ、專任ノ官員ヲ在勤セシメテ、大ニ開拓ノ業ヲ起シ、現今ハ内外ノ殖

父嶋一名北嶋
本嶋ト云フ

民五百餘口ニ至レリ、十餘里ニ亘ル、兩岬並ニテ對ニ父嶋ハ、群嶋ノ中央ニ在リテ、周回ハ里、旭山、鐺山高ク峙チテ、嶋中ハ、山谷共ニ樹木鬱蒼タリ、西岸ノ中央ヲ、袋澤ト云ヒ、漸平坦ナル處ニシテ、時雨瀧布瀧等ノ勝アリ、諸水相集リテ、西ニ流ル、者ヲ、八瀨川ト云フ、○二見港ハ、西北ノ大灣ニシテ、群嶋中ノ良港タリ、灣内方二十餘町、大村、奥村、扇浦洲、寄ノ諸村、灣ヲ環リテ、居家住民アリ、扇浦ニ官舎ヲ置キテ、諸嶋ノ治所トス、港口ノ一嶋ヲ、野羊嶋ト云ヒ、飯盛山高クシテ、入港ノ標準トナル、岸下ニ三洞門アリテ、頗奇觀タリ、○巽港ハ、南端ノ小灣ニシテ、南寄巽寄、相抱キテ、遙ニ母嶋ノ乾崎ニ對セリ、○屬嶋ノ大ナル者ヲ、兄嶋、弟嶋トス

石及三河ノ御影石名唐砥甲斐ノ兩畑石伊豆ノ小松石等
 ニシテ、鑛物ハ、甲斐伊豆ニ金山アリ、近來ハ遠江ヨリ石腦
 油ヲ出ス、頗多シト云フ、材木ハ、諸國共ニ繁生スルモ、遠
 江伊豆ノ山中最良材巨幹ニ富ム、甲斐ハ、山間ニ夾レバ、葡
 萄柿栗梨桃银杏石榴林檎ノ八珍果ヲ名産トナス、伊豆ハ、
 海中ニ出デ、魚介ノ類殊ニ多ク、鯉節ノ製造ハ、其品既ニ
 土佐ニ次グト云フ、山中ハ、盛ニ薪炭ヲ出シ、又山葵ノ産ア
 リ、七嶋ハ、椎實椿油ヨリ、桑黃楊ノ諸材アリ、魚ハ鹽物干物
 トシテ、四方ニ送輸ス、是ヲ嶋物ト呼ベリ、小笠原嶋ノ産物
 ハ、山ニ野羊野豚野雞信天翁大蝙蝠アリ、海ニ鯨鱈鮫章魚
 龍蝦鰻龜アリ、樹木ハ、杣檜櫻櫨桑芭蕉水蠟樹等ニシテ、露

兜樹最奇ナリ、其根高ク現レテ、鱗脚ノ如シ、故ニ鱗木ト呼
 ベリ、甘薯甘蔗玉蜀黍馬鈴薯蘿蔔西瓜烟草ノ類ハ、皆移殖
 ノ物ナレド、共ニ克ク繁殖セリ、製造ノ品ハ、尾張ノ燒物ヲ
 第一トナス、瀬戸ノ産極テ盛ナレバ、瀬戸物ノ名、遂ニ磁器
 ノ定稱トナルニ至ル、其他亦豐樂燒七寶燒常滑燒アリ、伊
 勢ノ萬古燒モ亦別様ノ良品ニシテ、伊賀燒ハ、古ヨリ茶家
 ノ賞翫スル所タリ、漆器ハ山田ノ春慶塗、静岡ノ駿府塗等
 ニシテ、駿河半紙、遠州疊表及熱海、雁皮紙モ亦産出ノ多キ
 モノトス、酒ハ、尾張伊勢ノ製釀最盛ニシテ、關東ニ中國物
 ト稱スルハ、此兩國ノ産ナリ、醋醬油ハ、知多郡ヲ推シ、味噌
 ハ、白子岡崎ノ兩地ヲ盛ナリトナス、名古屋ハ、扇提燈及剪

關東

關東ハ相摸武藏安房上總下總常陸及上野下野ノ八國ヲ
 總稱スル者ニシテ古ヨリ足柄坂ノ東ナルヲ以テ坂東ヲ
 其正稱トナス又山道ハ碓氷山ノ東ナレバ山東ト呼ビテ
 一處兩名アリ中世以來又箱根ノ山道ヲ開キテ共ニ關門
 ノ設アレバ遂ニ今稱ヲ用キテ常ニ關東八州ト呼ブ且其
 地形風俗相同ジケレバ海山兩道ニ分屬スルモ上世ヨリ
 自一區域ヲナセリ故ニ今又關東ト題シテ八國ヲ一部ト
 ナス蓋其地ハ東南共ニ大洋ニ向ヒテ西北ハ皆連山相圍
 メリ中央ハ廣野五十里ニ亘リテ平坦ナルヲ全國中又其
 比ナク謂ユル八州ノ平野ト唱フル者是ナリ利根川ハ其

中間ヲ横流スル大河ナレバ坂東太郎ノ稱アリ又江戸海
 ハ海水正南ヨリ北ニ入ル二十里安房相摸ノ間ニ入りテ
 大ナル内海ヲナシ武藏及上總下總ノ三國ニ亘リテ沿回
 五十里其東西ハ五里ヨリ十里ニ及ブ海濱大率淺沙ニシ
 テ港灣ノ地ニ乏シケレドモ西岸ニ横濱横須賀浦賀ノ三
 港相並ビテ頗碇泊ノ利アリ江戸ハ其西北隅ニ臨ム大都
 會ナレバ直ニ其名ヲ冠ラセテ内海ノ稱呼ヲ定ムト云フ
 相摸九郡

雨降山ハ國ノ中央ニ峙チテ其東南ハ山圍既ニ盡キタレ
 バ常ニ大山ト呼ブ丹澤山其北ニ立チテ更ニ高シ後陰ハ
 津久井郡ニシテ甲斐ノ郡内ト相接シ村里ハ皆山谷ノ間

ニアリ、北境ハ、武藏ノ界ナル小佛峠ヲ、甲州街道ノ通路ト
 ナス。○足柄山ハ、孫佛猪鼻ノ諸山ト共ニ、西境ニ相並ビテ、
 駿河ノ界ニ連ル、即上世ノ官道ナリ、其脈南ニ亘リテ、伊豆
 ニ跨ル者ヲ、箱根山トナス、海道一ノ險坂ニシテ、八里ノ大
 峠タリ、山上ハ、駒岳ニ子山等、相聳エテ、周回五里ノ湖水ア
 リ、富士八湖ノ一ニシテ、蘆湖ト云フ、下流ハ、北ヨリ東ニ下
 リテ、早川ト呼ビ、小田原ニ至リテ、海ニ入ル、其山中ハ、川ノ
 南岸ニ就キテ、温泉甚多ク、箱根七湯ト呼ビテ、湯本宮下ノ
 兩處、最盛ナリト云フ、
 相摸川ノ上流ハ、甲斐ノ桂川ニシテ、又同國ノ南隅ヨリ出
 ズル道志川ヲ、津久井ノ山間ニ合セテ、南ニ流レ環ル、其沿

岸漸平坦ニシテ、相摸原ニ沿ヒ、厚木ニ至リテ、又丹澤山ニ
 發源セル中津川ヲ合ス、而テ官道ニ當ル處ヲ、馬入川ト云
 フ、源ヨリ三十里ニシテ、國中第一ノ大河ナリ、界川ハ小佛
 峠ヨリ出デ、國境ヲ東ニ環リ流ル、故ニ此名アリ、亦南ニ
 轉ジテ、藤澤ヲ過ギ、片瀨川ト呼ビテ、海ニ入ル、金目川モ、亦
 其源ヲ丹澤山ニ發シテ、其南麓ヲ環リ下ル、玉川、鈴川ハ共
 ニ大山ノ水ヲ集メ、三川相會シテ、花水川ト云ヒ、平塚大磯
 ノ間ニ注グ、酒匂川ハ、其源ヲ富士山ノ麓ニ發シテ、足柄山
 中ノ衆流ト合ヒ、東南ニ流レテ、小田原ノ東ニ注グ、此數川
 ノ海口ハ、平砂相連リテ、東ハ鎌倉ヨリ、西ハ小田原ニ至ル、
 十里中央ヲ、淘綾磯ト呼ビテ、大磯、小磯等ノ諸濱アリ、三浦

郡其東ヲ限リ、西ハ石橋山、真鶴崎ヨリ、伊豆ニ亘リテ、其海上ヲ相摸灘ト云フ、

三浦郡ハ、正南ニ出ヅル七里、内外海ノ間ヲ限レリ、其端ヲ三崎ト云ヒテ、城嶋其前面ニ横ル、故ニ郡ノ東面ハ、江戸海ニ臨ミ、最南ノ、劍崎ハ、安房ノ大武崎ト相望ミテ、其海門ヲ夾ム、浦賀港ハ、内海ノ要口ニシテ、灣内狭小ナレドモ、舟舶常ニ相集レリ、港北ノ一岬ヲ觀音崎ト云ヒ、上總ノ富津洲ト、斜ニ相向ヒテ、直徑一里半、是ヲ走水海峡ト呼ベリ、砲臺ヲ兩地ニ築キテ互ニ其咽喉ヲ扼スト云フ、岬北ハ、横須賀ニ東海鎮守府ヲ置ク、造船場ハ、深塹兩處、長各百間許、軍艦巨舶ノ製造修理、共ニ其工作ニ堪ヘテ、東洋中最盛大ナル

工場タリ、其北ハ直ニ武藏ノ金澤ニ連リテ、横濱ト相距ル海上七里、常ニ小湊船ノ往復アリ、
小田原ハ、一都會ニシテ、人口一萬二千アリ、其地、山ヲ負ヒ、海ニ臨ミ、頗、要害ノ地ナレバ、後北條氏、此城ニ居テ、關東ノ大半ヲ領スル、一五世八十年、天正中、豐臣秀吉、征討ノ師ヲ率キ、合圍五月ニシテ、纔ニ能ク陷レシト云フ、正南ノ石橋山ハ、即秀吉ガ本營ヲ置キシ處タリ、其麓ハ、海岸一條ノ道路ヲ、根府川ト云ヒテ、伊豆ノ通路トス、又東海道ノ驛路ハ、小田原ヨリ、大磯、藤澤ヲ經テ、武藏ニ入り、東京ニ至ル平坦二十二里、國境僅ニ品濃坂アルノミ、○鎌倉ハ、壽永中、源賴朝ノ幕府ヲ開キシ舊墟ニシテ、北條氏、足利氏、相繼ギテ此

地ニ居ル三百年、故ニ大家名族ノ宅趾等、尚比企谷扇谷等ノ際ニ存セリ、鶴岡八幡宮ハ、賴朝ガ五世ノ祖、賴義、康平中創建セシ舊社ニシテ、爾來皆尊崇セシ所ナレバ、社壇極テ壯麗ニシテ、新ニ國幣社トナル、其他建長寺、圓覺寺等、鎌倉五山ト稱スル巨寺アリ、鎌倉宮ハ、護良親王ヲ祀ル官幣中社ニシテ、明治二年ノ新建タリ、街市ハ、雪下ト呼ビテ、其海濱ヲ由井濱ト云フ、其西ハ、稻村崎、七里濱、及腰越、片瀨ノ諸村、相連リテ、淘綾磯ニ亘レリ、江嶋ハ、片瀨ノ海中ニ峙チテ、岸ヲ距ル五町、一條ノ沙路、陸地ニ通ズレバ、行歩ニテ達スベシ、嶋上ハ、奇巖危石、相重リテ、崖下ニ洞窟アリ、東京近地ノ名勝ナルヲ以テ、都下ノ遊人、常ニ鎌倉ト共ニ遊覽ノ處

トナスト云フ、

武藏 二十二郡

秩父山ハ、正西ニ重リテ、信濃上野ニ接シ、全郡皆山岳ニシテ、武甲山三峯、兩神山等、最高シ、山脈南ニ亘リテ、甲斐ノ境ニ、大岳御岳アリ、相摸ノ界ニ、小佛崎、高尾山アリ、遂ニ長岡一帶、東南ニ連リテ、國境ニ亘ル數里、官道ノ坂路ハ、品濃坂ニシテ、金澤六浦ニ至リテ、内海ノ岸ニ盡ク、多摩川ハ、甲斐ノ丹波山ヨリ來リテ、南ニ流レ、青梅羽邑ヲ過ギテ、秋川、淺川ヲ合ス、以下ハ、兩岸皆平坦ニシテ、南流、三十里、瀨、淺クシテ、水極メテ清冷ナリ、日野ニ子ヲ過ギテ、川崎ニ至ル、官道ニ六郷橋ヲ架ケ、又瀧車通路ノ鐵橋アリ、橋

下ヨリ羽田ニ至リテ、内海ニ入ル。○荒川ハ、秩父郡中ノ水ヲ集メ、東北ニ流レテ、大宮ヲ過グ、郡中ノ大邑タリ、水流ハ、東ニ轉ジテ、漸山圍ヲ離レ、平野ノ間ヲ環リテ、熊谷ニ至リ、支流ヲ分チテ、綾瀨川ト云ヒ、其ニ東南ニ流ル、本流ノ下流ハ、即豐嶋川ナリ、戸田橋ヲ架ケテ、中山道ノ官道トナス、此川ハ、環流屈曲スレバ、其流五十餘里ニ及ブト云フ、武藏野ハ、荒川多摩川兩河ノ間ヲ呼ブ者ニシテ、南北十里許、西ハ秩父山ヲ限リ、東ハ江戸海ノ涯ニ至リ、地形平坦ナルヲ十餘里、狹山野火留及小手差原分倍河原等ノ名處古戰場アリ、上世ヨリ、惟廣漠タル原野ナリシガ、徳川氏ノ入國以來、開墾ノ功、歳々相續ギタレバ、田畝開ケテ、村里相連

ルニ至ル、入間川高麗川、共ニ秩父山ヨリ出テ、平野ノ間ヲ環流スルヲ十餘里、川越ノ西ニ至リテ、共ニ荒川一入ル、川越ハ人口一万ニシテ、東京ト相距ル十一里、又新河岸ヨリ、溝渠ヲ荒川ニ通ジテ、舟運ニ便ニス。○八王子モ、亦繁盛ナル大邑ニシテ、甲州街道ノ驛路ニ當リ、日野府中ヲ經テ、東京ニ至ル十二里、其驛ハ、小佛高尾兩山ノ麓ニ接シ、其近傍ノ村里、皆布帛ノ産業ヲ務ムレバ、總テ八王子織ト稱セリ、玉川上水ノ源流ハ、羽邑ヨリ、多摩川ヲ分チテ、長渠ヲ新宿ニ通ゼル者ニシテ、渠ノ兩岸ニ、櫻樹アリ、小金井ノ櫻ト呼ビテ、東京ヲ距ル數里ナルモ、開花ノ候ハ、都人ノ來リ賞スル者、頗多シ、又其北ニ接セル小池ヲ、井頭池トナス、池水

清冷ニシテ、玉川ニ劣ラズ、即神田上水ノ源泉タリ、荒川ノ東北モ、亦地勢平坦ナルヲ十餘里、東ハ下總ニ連リ、北ハ上野ニ亘リ、謂ユルハ州ノ平野ノ中央ニシテ、利根川其中間ヲ流レテ、西ヨリ來リ、上野ノ境ヲ限リテ、栗橋ヲ過ギ分レテ南ニ流ル、者ヲ江戸川ト云ヒ、下總ト境界ヲ分チ十八里ニシテ内海ニ入ル、綾瀨川ハ元荒川ト云ヒ、中川ハ上流ヲ古利根川ト稱ス、其二其兩河ノ支流ニシテ、且其中間ヲ流レテ、屈曲分合スレバ、運漕灌漑ノ利アルモ、沿岸ノ地、多クハ卑濕ニシテ、時ニ水害ヲ免ル、一能ハズト云フ、中山道ノ驛路ハ、二十五里ニシテ鐵道ノ建設アリ、浦和大宮熊谷ノ大邑相望ム、熊谷驛ハ、八道ノ通路ニ當リテ、人

口一萬アリ、最繁盛ナル街市ニシテ、其東ニ行田岩槻ノ二邑アリ、大宮ノ冰川神社ハ、武藏ノ一宮ト稱セシ古社ナレバ、東京遷都ノ後、陞セテ官幣大社トナスト云フ、陸羽街道ハ、千住ヨリ、越谷幸手ヲ過ギテ、栗橋ニ至ル十五里、利根川ノ官渡ヲ、房川渡ト呼ビテ、河岸ノ長堤ヲ行幸堤ト云フ、明治九年、奥羽巡幸ノ日、其功ヲ賞シテ、命名セラレタル所ナリト云フ、内海ノ涯ハ、江戸川ノ海口ヲ、堀江ト云ヒ、一江砂村ノ諸濱、相連リテ、深川ノ洲崎ニ接ス、即東京ノ東隅ナリ、東京ノ南ハ、品川ヨリ、大森羽田ノ諸邑相連レリ、其海底ハ、皆淺沙遠ク亘リテ、舟泊ニ利アラズ、羽田洲ハ、本牧崎ト相望ミテ、横

濱港ヲ抱ケリ、本牧以南ハ、根岸、杉田、金澤ノ諸濱相並ビテ、
 海岸稍深シト云フ、杉田ハ、梅花ノ勝地ニシテ、金澤ハ、灣内
 ノ景色明美ナレバ、遊人常ニ多シ、灣外ノ孤嶋ヲ猿嶋ト云
 フ、新ニ砲臺ノ築造アリ、
 横濱ハ、五港ノ一ニシテ、六萬四千ノ人口アリ、灣内水深ク
 シテ、數十ノ大艦巨舶常ニ碇泊スベシ、安政六年始テ此地
 ヲ開キテ、海外諸國ノ互市交易場トナス、街市ハ、灣ノ南岸
 ニ臨ミ、東ヲ本村、石川トナシ、西ヲ野毛、戸部トナス、南ハ長
 岡相連リテ、根岸ノ海濱ヲ限ル、北ハ海灣ヲ隔テ、神奈川
 驛ト相對シ、其直徑一里、灣ノ中央ニ鐵道ヲ築キテ、櫻木町
 高嶋町等、街市相連レリ、○外國人ノ商館ハ、市中ノ南半及

南方ノ岡上ニ在リテ、鐵閣石樓皆高大ノ營造タリ、其寄留
 セル人員三千餘口アリト云フ、此地ハ、開港場ノ第一ニシ
 テ、道路正シク、街衢整ヒ、本町、辨天通海岸通等ヲ通衢トス、
 岸上ニ離宮ヲ置キ、又燈臺局及氣車休停館等アリ、港内ノ
 溝渠ハ、大率鐵橋石橋ヲ架ケテ、通路トナシ、吉田橋最大ナ
 リ、野毛山ハ、大神宮ノ社壇アレバ、伊勢山ト呼ビテ、山上ヲ
 公園トナス、○神奈川ハ、東海道ノ大邑ニシテ、東北ハ、川崎
 六郷ヲ經テ、品川ト相距ル五里、西南ハ、程谷ヲ過ギテ、品濃
 坂ノ國境ニ至ル、僅ニ二里餘ナリ、

安房 四郡

大洋中ニ突出シテ、北ハ上總ト相連リタル半嶋國タリ、國

内ハ、岩石相重リタル山岳ニシテ、海岸モ亦高ク峙キテ、岩礁並ビ列レリ、沿海二十餘里、最南ヲ白濱ト云ヒ、其岬ヲ野嶋崎トナス、岬東ヨリ、上總ニ亘リテ、海上ハ潮流殊ニ急ナレバ、舟入ハ、房州沖ト呼ビテ、相戒ムル處ナリト云フ、○洲崎ハ、白濱ヨリ、西ニ出ヅル五里、遙ニ伊豆ノ爪木崎ト相望メリ、岬陰ハ、大武寄ト、海灣ヲ抱キテ、沿回五里、那古北條ノ諸邑、相臨ミテ、館山ヲ舟泊ノ處トナス、大武寄ヨリ北ハ、相摸ト相對シテ、内海ノ岸ニ亘リ、海岸ノ一邑ヲ、勝山ト云フ、富山、鋸山、其上ニ並ビ峙ツ、鋸山ハ、上總ニ跨リテ、直ニ海岸ニ臨ミ、山上八十國一見ノ勝アリ、其峯並列シテ、鋸齒ノ如クナレバ、此名アリト云フ、其後山ハ、横根、花立、清澄ノ諸山

相連リテ、東ニ亘リ、國境ヲ限リテ、東洋ノ岸ニ盡ク、其岸ヲ小湊ト云ヒテ、上總ノ興津港ト相接シ、灣内狭小ナレトモ、東洋中ノ港泊ナリ、○國中ノ水流ハ、其ニ細流ニシテ、舟運ノ利ナシ、北境ノ山谷ニ發源スル者、各集リテ、兩川トナル、東ニ流ル、者又、加茂川ト云フ、其河口ハ、磯村前原ノ諸濱、相連リテ、小湊ニ接ス、波太嶋、辨天嶋等ノ岩礁、其前ニ屹立セリ、湊川ハ、又平久里川ト云ヒ、南ニ流レテ、那古ニ注グ、
上總 九郡

東ハ大洋ニ向ヒテ、大東崎洋中ニ突出ス、其根尚海底ニ亘ル、一里、東洋第一ノ險ト云フ、西ハ江戸海ニ臨ミテ、亦富津洲アリ、其長三里餘ニ及ベトモ、潮満ツレバ、隠ル故ニ隱

洲ト云ヒテ、浮標ヲ置キ、又砲臺ヲ築キテ、猿嶋、觀音崎ト三方相對セリ、

此國ノ南半ハ、皆山谷ニシテ、安房ト相接シ、鹿野山、鬼涙山等、並ビ峙チテ、内海ニ臨ミ、其後山ハ、山林相連リテ、多ク薪炭ヲ出セリ、國ノ北方ハ、下總ニ亘リテ、平野ノ際、殆境界ナシ、原中ノ一邑ヲ東金ト云フ、東洋ノ岸ハ、大東崎ヲ、山野ノ經界トナシテ、以南ハ、海岸高ク列リテ、勝浦、興津ノ二港アリ、岬ヨリ北ハ、平沙一帯、下總ニ連ル十六里、其形方ノ如シ、矢刺濱ト云ヒ、常ニ九十九里ト呼ブ、蓋六町一里ノ里程ニ依ル者ナリ、其沿海ノ地ハ、瘠土ニシテ、田畝少ク、居民皆海獵ヲ常務トナスト云フ、

川流ハ、皆南方ノ山谷ヨリ出テ、東西ニ分レ流ル、其ノ一ニ十里許、大東寄ヲ夾ミテ注ギ入ル者ハ、南ヲ大多喜川ト云ヒ、北ヲ一宮川ト云フ、直ニ外洋ニ注グヲ以テ、河運ノ便却テ少シト云フ、養老川、小櫃川、小糸川ハ、其ニ内海ニ入ル、皆行舟ヲ通ジテ、運漕常ニ多シ、内海ノ濱ハ、姊崎、五井等、諸濱相連リ、木更津ハ、頗繁盛ナル港泊ニシテ、東京ト相距ル十三里、通船日夜相往來シテ、物貨ノ出入、皆此港ヨリ輸送スト云フ、

下總 十二郡

利根川ハ、八州第一ノ大河ナレバ、坂東太郎ノ稱アリ、源ヨリ海口ニ至ル、七十餘里、千曲川、北上川ニ次ギテ、本嶋第三

ノ長流タリ、上野武藏ノ際ヨリ來リテ、關宿ニ至リ、分レテ
 兩川トナル、其南ニ流ル、者ハ支流ニシテ、即江戸川ナリ、
 本流ハ、東南ニ流レテ、絹川、小貝川ヲ并セ、取手渡ヲ、水戸街
 道ノ渡津トナス、其流十里餘、是ヲ中利根川ト呼ブ、下利根
 川ハ、正東ニ流ル、二十餘里、佐原、小見川ヲ過グレバ、河幅
 ノ廣キヲ、殆一里、常陸ノ境ヲ限リテ、其海口ヲ、鉾子口トス、
 又支流ヲ北ニ分チテ、小貝川ノ分流ト、共ニ常陸ノ霞浦ニ
 入ル者ヲ、新利根川ト呼ブ、又横利根、北利根等ノ支流、縱橫
 ニ環リ流レテ、其間ニ夾ル村里ハ、十六嶋ノ稱アリ、
 鉾子港ハ、飯沼、今宮及松岸等ノ街市相連ル、一里ニシテ、
 人口一萬七千アリ、港口ハ、常陸ノ羽寄ト相夾ミ、テ、巨岩並

ビ立チ、水流其間ヨリ、迸リ注ゲバ、其狀ニ因リテ、鉾子口ノ
 名アリト云フ、大吠寄ハ、港口ヨリ、正東ニ突出セル大岬ニ
 シテ、岩礁屹立シ、其大ナル者ヲ、海獺嶋ト云フ、○江戸川ハ、
 古名ヲ、太井川ト云フ、關宿ヨリ分レテ、南ニ流ル、十八里、
 野田流山ヲ過ギテ、松戸ニ至ル、亦水戸街道ノ官渡ナリ、下
 流ハ、國府臺ノ崖下ヲ流レ、市川行徳ヲ過ギテ、内海ニ入ル、
 ○利根川ノ沿岸ハ、土地殊ニ卑濕ニシテ、湖沼甚多シ、河北
 ノ長井戸沼、鵜戸沼、菅生沼等ハ、皆中利根川ニ注ギ、河南ノ
 印幡沼、手賀沼、長沼等ハ、共ニ下利根川ニ入ル、印幡沼頗大
 ナリ、國ノ中央ニ亘ル七里ニシテ、周回十二里アリ、其形屈
 曲シテ、南沼北沼ニ分レタリ、

此國ハ地形平坦ニシテ絶エテ山岳ナシ其東西二十餘里南北十八里東ハ大洋ニ向ヒテ犬吠寄ヨリ南ニ亘リタル海濱ハ即九十九里ニテ粟山川ヲ國境トナス正南ハ内海ニ臨ミテ船橋千葉ノ諸邑相連リ上總ノ五井姊崎ニ亘リテ村田川ヲ兩國ノ境トス兩海濱ノ間ハ原野遠ク連リテ小間子取香ノ兩野ハ兩國ノ間ニ牧場ヲ置キ常ニ野馬數百匹ヲ飼フ國ノ中央モ亦小金原習志野六方原等皆數里ノ廣原アレドモ近來大ニ開墾ニ就ケリ習志野ハ正伯原ト呼ビシガ陸軍演習場トナリ明治六年車駕行幸アリテ其練兵ヲ親覽セラレシ時此名ヲ賜ヒシト云フ○佐倉ハ原野ノ中央ナル城邑ニシテ印幡沼ノ南岸ニ臨メリ千葉

ト相距ル五里千葉ハ江戸海ノ東北隅ニ臨ム大邑ニシテ登戸寒川ノ兩邑ト相連ル千葉氏二十餘世ノ居城趾今尚存シテ猪鼻山ト云フ千葉神社千葉寺等皆同氏尊崇セシ處ニ係レリ○成田不動堂ハ佐倉ノ東三里ニアリ又東北九里ヲ香取神宮トナス常陸ノ鹿嶋ト共ニ二千餘年ノ古社ニシテ其二官幣大社タリ社前ノ津宮ハ下利根川ニ臨ミテ佐原ト相距ル一里ニ充タズト云フ

猿嶋結城岡田豊田ノ四郡ハ利根川ノ北ニ並ビテ下野常陸ト土地相交リ其國境殆經界ナシ北隅ヲ結城トシ西隅ヲ古河トス古河ハ陸羽街道ノ驛路ニ當リテ其南ハ房川渡ナリ而テ北ハ下野ノ宇津宮ト相距ル十二里○絹川ハ下

野ヨリ來リテ、又同國ノ田川ヲ結城ニ合セ、久保田水海道ヲ過ギテ、南ニ流ル、十一里、小貝川ハ、常陸ヨリ來リテ、國境ニ沿ヒ、東南ニ環リ流ル、十四里ニシテ、利根川ニ入ル、其會流ノ處ヲ、中下、利根川ノ經界トナスト云フ、

常陸 十一郡

關東八州ノ東北隅ニシテ、海岸三十七里、全ク東洋ニ向ヒテ、海上ハ常陸灘ノ稱アリ、其中央ヲ那珂港トナス、那珂川ハ、下野ヨリ來リテ、東ニ流ル、十二里、仙波沼、涸沼ノ下流ヲ合セテ、直ニ大洋ニ注グ、其河口ノ北岸ハ、那珂港ナリ、那珂ハ、中ナリ、此川ハ、大率國ノ中央ヲ流ルレバ、郡名ト共ニ此名アリト云フ、故ニ國內ノ地勢モ、亦自其形勢ヲ異ニス、

河ヨリ北ハ、山谷相列リテ、下野磐城ニ接シ、金砂山ハ、東西兩峯アリ、月居男體ノ諸山相峙キテ、國境ヲハ溝山トナス、月居山麓ナル四度瀧ハ、飛流四十丈、頗奇觀タリ、其東ハ、高鈴山、神峯山、及豎破、花園等ニシテ、沿海ノ一路ヲ陸前濱街道トナス、勿來關ハ、國境ノ山道ニシテ、其海岸ニ平瀉港アリ、灣内狹小ナレドモ、亦東洋中ノ良泊タリ、○久慈川ハ、源ヲハ溝山ニ發シテ、磐城ヨリ來リ、山谷ノ際ヲ貫キ下リテ、東ニ轉ジ、太田ノ南ニ至リテ、里川ヲ合セ、其流二十四里ニシテ、大洋ニ入ル、其河口モ、久慈ト稱スル海港ナレドモ、舟泊ノ利、少シト云フ、太田ハ、佐竹氏ノ舊城墟ニシテ、今尚山間ノ一邑タリ、

那珂川以南ハ平野十餘里ニ亘リテ、南ハ利根川ヲ夾ミ、西ハ小貝川ヲ限リテ、其二下總ニ接セリ、牛久沼大寶沼等アリ、牛久ノ下流ハ直ニ小貝川ニ入ル、其相合フ處ハ水戸街道ニシテ、下總ノ藤代ト相接セリ、其東南ハ女化ト呼ベル、廣野ニシテ、四方三里ニ亘リ、南隅ノ一邑ヲ龍崎ト云フ、大寶沼ハ國ノ西隅ニシテ、其近傍ナル下館下妻ノ諸邑ハ、其二小貝川、絹川ノ間ニ夾レリ、筑波山ハ平野ノ際ニ立チテ、男體女體ノ雙峯並ビ聳ユ、此山ハ八州平遠ノ祭ニ屹立スレバ、四方ヨリ賞稱セラル、名山ナリ、後山ハ蘆穗山加波山相連リテ、下野ノ佛頂山ニ接ス、櫻川ハ源ヲ國境ニ發シテ、三山ノ西麓ヲ流レ、又筑波

山ヨリ來ル美那濃川ヲ合セテ、東南ニ環ル、故ニ筑波川ノ稱アリ、其流十里、土浦ニ至リテ、霞浦ニ入ル、霞浦ハ大ナル湖水ニシテ、四方七里ニ亘リ、其周回ハ三十六里ニ及ブ、近江ノ琵琶湖ニ次ギテ、全國第二ノ湖水タリ、西岸ニ兩灣アリ、南ヲ江戸崎ト云フ、浮嶋其灣口ニ峙ツ、北灣ハ即土浦ニシテ、水戸街道中ノ大邑ナリ、湖水ハ東ニ流レテ、新利根、横利根ノ兩川ヲ受ケ、相逼リテ、一河トナル、即北利根川ナリ、牛堀潮來ヲ過ギテ、北浦ノ水ト相合フ、北浦モ亦一ノ湖水ニシテ、南北六里、周回十五里、然レ行方、鹿嶋兩郡ノ際ニ夾レバ、其幅ハ一里ニ過ギズ、兩湖ノ水相合フ處ヲ浪逆浦ト云フ、蓋海潮滿チ來ル時ハ、其水逆流ス、故ニ

此名アリト云フ、平時ハ、息洲高濱ヲ過ギテ、利根川ノ本流ト共ニ銚子口ニ注グ、○鹿嶋ハ、大洋ニ向ヒテ、那珂川ノ海口ヨリ、銚子口ニ至ル、平沙二十里、其形狹長ニシテ、東南ニ亘リ、南端ヲ東下ト云ヒ、砂山相亘リテ、利根川ノ河口ヲ夾ミ、其岬角ヲ羽寄トナス、鹿嶋神宮ハ、外洋ニ臨ミタレドモ、北浦ニ臨ミタル大船津ヲ、入津ノ處トス、水戸ハ、一都會ナル城邑ニシテ、人口二萬アリ、街市ハ、上市下市ニ分レ、本城ハ、其中央ニアリテ、南ハ千波沼ニ臨ミ、北ハ那珂川ヲ帶ブ、水戸街道ハ、石岡土浦ヲ過ギテ、下總ヨリ東京ニ至ル三十一里、又、陸前濱街道ハ、石神助川伊師等ヲ經テ、磐城平ト相距ル、二十六里、○那珂港ハ、湊町祝町磯濱

等、河口ヲ相夾メリ、一萬三千ノ人口アリテ、水戸ハ三里、水陸共ニ運輸ノ便利多シト云フ、
上野 十四郡
 上世ハ、下野ト共ニ毛野ト稱セシ大國ナリシガ、後上下兩國ニ分ルト云フ、此國ハ、關東ノ西北隅ナレバ、北境ハ、深山重嶺ヲ負フト、雖、東南ハ、平野遠ク亘リテ、武藏及下野下總ニ連リ、利根川ノ外、又、境界ナシ、利根川ハ、文珠山ニ出ヅル者ヲ正源トナス、深山ノ際ニ赤谷發知ノ諸水ヲ合セテ、又、片品川ト沼田ニ相會シ、白井ニ至リテ、吾妻川ト合フ、此地ハ、赤城榛名兩山ノ麓互ニ相絶ユル處ニシテ、合流以下ハ、山圍全ク解ク、前橋ヲ過ギテ、東

南ニ流シ、直ニ武藏ノ境ニ至ル、烏川西ヨリ來リ會シテ、嶋村ヲ抱キ、其二折レテ、東ニ轉ジ、國境ヲ流ル、一十餘里、河幅頗廣クシテ、水勢益大ナリ、下總ノ界ニ至リテ、渡瀨川ニ會シ、遂ニ兩國ノ際ニ入ル、源ヨリ二十八里、是ヲ上利根川ト呼ブ、

赤城榛名ノ兩山ハ、國ノ中央ニ雙立シテ、各南ニ向ヒ、相並ビテ、山野ノ經界ヲナス、赤城ハ東ニ立チテ、山勢頗高峻ナレドモ、山腰平坦ニシテ、曠原三里ニ亘ル、榛名ハ數峯相集リテ、西ニ峙チ、其高キ者ヲ相馬岳トス、山際ニ伊香保沼アリ、兩山ノ陰ハ、利根吾妻ノ二郡ニシテ、沼田ヲ山間ノ一邑トナス、其東隅ハ、下野ニ接シテ、荒山最高シ、北ハ武尊山文

珠山等、相重リテ、峽間ノ尾瀨沼ヲ、岩代ノ境トス、片品川ハ、源ヲ其傍ニ發シテ、西南ニ環リ下ル、三十里、利根川支源ノ其一ナリ、○三國峠ハ、大山脈ヲ貫キテ、險峻三里、北國街道ナリシガ、新ニ其東ノ清水越ヲ開キテ、車馬ヲ通ゼリ、以西ハ、信濃ニ包レ、稻包、岩寒、萬座ノ諸山、國境ニ並ビ列リテ、淺間岳ニ連ル、白根山、吾妻山ハ、同國ノ白峯、四阿ト、同山異字ニシテ、鳥居峠ヲ兩國ノ通路トナス、吾妻川ハ、嶺上ニ發源シテ、草津、四萬ノ諸水ヲ集メ、山谷ノ際ヲ東ニ流ル、十六里、亦利根川支源ノ一ナリ、其沿岸ノ村里ハ、淺間岳ノ北陰ニ當リテ、温泉甚多ク、草津、澤渡、河原等ノ諸湯アリ、四萬、伊香保ノ兩處ハ、最良泉ナリト云フ、

碓氷山ハ信濃ニ跨ル大嶺ニシテ峻坂三里餘ナルモ中山道ノ要路ニ當レリ其山脈ハ淺間岳ヨリ來リテ南ニ亘リ和見峠荒船山等信濃ノ境ニ並ビテ關東ノ西境ヲ限リ秩父山ニ接シテ御荷鉾山兩峯並ビ峙テリ○妙義山ハ又白雲山ト云フ金洞金雞ノ兩山ト共ニ和見荒船兩山ノ前面ニ聳エテ平野ノ正西ニ並ブ三山悉巖岩相重疊セル者ニシテ蠟燭巖大日巖等ノ奇勝アリ金洞ハ中岳ト呼ビテ山中ハ石門四箇最奇絶ト稱ス高原一帶相連リテ山麓ヨリ東南ニ亘ル五里碓氷甘樂兩郡ノ郡界ヲ限ル者ヲ横野原ト云フ○碓氷川ハ碓氷山中ヨリ來リテ淺流急激ナリ妙義山ノ麓ヲ環リテ安中板鼻ヲ過ギ東南ニ流ル、一九里

烏川ニ入ル其北岸ハ中山道ニテ新ニ鑿道ヲ敷ク蕪川神流川ハ其ニ甘樂川ノ轉訛ニシテ各郡中ノ諸水ヲ分チ集メ東流シテ亦烏川ニ入ル蕪川ハ下仁田一宮富岡ヲ過ギテ其流十六里神流川ハ武藏ノ境ニ沿フ一二十里御荷鉾山ノ南陰ヲ環リテ新町ニ至ル即中山道ノ渡津ナリ烏川モ亦碓氷山ノ北陰ニ發シテ西北ヨリ來リ高崎ニ至リ始テ舟運ヲ下流ニ通ズベシ岩鼻新町ヲ過ギテ武藏ノ境ヲ限リ遂ニ嶋村ニ會流ス亦利根川支源ノ一ニシテ其流十四里ナレドモ行舟ノ利ハ却テ此川ニ多シト云フ○渡瀨川ハ長流三十里亦支源ノ其一タリ下野ノ庚申山ヨリ來リテ坂東川ト云フ赤城山ノ麓ヲ南ニ流レテ桐生川

下野ノ庚申山ヨリ來リテ坂東川ト云フ赤城山ノ麓ヲ南ニ流レテ桐生川

ヲ合セ、東ニ轉ジテ、又下野ニ入ル、下流ハ、南ニ環リテ、下總ノ境ヲ過グ、故ニ界川ノ稱アリ、此川ハ、毛野ヲ分國セシ時ノ經界ニシテ、又佐野中川ト云フ、○利根、渡瀨、兩河ノ間ハ、邑樂郡ニシテ、下野ノ梁田郡ト、土地相交リ、其近傍ハ、地勢卑濕ナレバ、板倉沼、城沼、多々良沼等アリ、館林ハ、城沼ニ臨ミタル一邑ニシテ、人口一萬ニ近シト云フ、

高崎ハ、國中第一ノ都會ニテ、人口ハ一萬一千、東京ヲ距ル二十八里、瀛車ノ鐵道ヲ通セリ、此地ハ、中山北國及日光ノ三道ニ當リ、頗繁華ナリ、前橋ハ、其北三里ニシテ、一萬五千ノ人口アリ、○例幣使街道ハ、日光奉幣使ノ通路ニテ、五科太田ヲ歷テ、下野ノ梁田ニ至ル十二里、太田ハ、元弘中、新田

正保四年四月
勅使来り東
照宮、幣帛ヲ
使ハ是ヨリ又
不時使幣ノ事
アリシガ、年ヨリ
以テ年々四月
幣帛ヲ使スルヲ
例トス之ヲ例幣
使ト云フ

義貞ガ、義旗ヲ揚ゲシ處ニテ、其故趾ヲ金山ト云ヒ、新ニ新田神社ヲ造營セリ、其北ニ桐生、伊勢崎ノ兩邑アリ、其二布帛ヲ産業トシテ、盛ニ織物ヲ出セリ、桐生最盛ニシテ、上州織ト稱スル者ハ、實ニ此地ノ出ス所タリ、故ニ此國ハ、養蠶ノ業、各方共ニ盛ニシテ、平野ノ間ハ、桑田相連レリ、近來ハ、富岡及新町ニ製絲場ヲ設ケ、新ニ蒸氣器械ヲ備ヘテ、其業最盛大ヲ極ムト云フ、

下野 九郡

西北ハ、連岳重疊シテ、國境ヲ圍ミ、東ニ高原アリ、南ニ平野アリ、高原ノ水ハ、集リテ東ニ流ル、常陸ノ那珂川、是ナリ、平野ノ衆流ハ、絹川、思川ノ兩川トナリテ、南ニ流レ、皆利根川

日光山ハ元ニ三
ト云フ直立ハ十
四百八十八山下鉢石
所ヨリ馬込村迄
二里同外ヨリ中宮ニ
至ルニ里夫レヨリ
山頂迄三里許

二會流セリ、日光山高ク聳エテ西北ノ隅ニ立ツ其高峯ヲ男體山又黒
髮山ト云ヒテ其北ニ並ブ者ヲ女貌山ト云フ其左右ニ大
真子小真子ノ諸岳アリ山中ハ湖沼瀑布頗多クシテ其ニ
奇景勝地タリ湖水ノ大ナル者周回八里中禪寺湖ト呼ブ
其水南ニ決シテ華嚴瀧トナリ飛流四十丈下流ヲ大谷川
ト云フ其他龍頭裏見霧降及湯瀧七瀧等四十八瀧ト稱セ
リ又五色沼赤沼アリ湯沼ハ其傍ニ温泉場アレドモ僅ニ
夏月ノ入浴ヲ得ルノミ其上ニ峙ツ白根山ハ即上野ノ荒
山ナリ○庚申山ハ有名ノ奇山ニシテ石橋洞門ノ勝ハ榛
名妙義ト並稱スベシニ子山ト其ニ白根山ノ南ニ立チテ

東ハ古峯原男裂山ニ連リ南ハ足尾峠地藏岳等並列シテ
上野ノ界ニ亘ル者ヲ安蘓山ト總稱ス其山脈ノ盡クル處
ヲ足利郡トナス○出流山モ亦奇山ニシテ危巖石洞アリ
男裂山ノ南ニ峙チテ太平岩船ノ諸山ト共ニ安蘓山ノ前
面ニ並ブ是ヨリ東南ハ地勢平坦ナレバ下總ト相交リテ
直ニ八州ノ平野ニ連レリ○然レバ男裂山頭ノ巖脈ハ二
那須岳ハ五峯並列シテ茶臼岳最高シ且噴火山ニシテ硫
烟常ニ燃ユ男鹿佐飛箒根鹽原高原ノ連岳皆南向シテ高
原ノ北ヲ圍ミ西ニ亘リテ日光山ニ接ス其背ヲ岩代トナ
ス而テ高原ノ東ヲ限ル者ハ八溝山高ク磐城ノ隅ニ立チ
テ其脈南ニ亘リ鳥子山雞足山等常陸ノ境ニ連リテ佛頂

山ニ盡ク○高原ハ、那須野鹽谷原ノ二野ニ分レテ、四方十餘里近來疏水ノ舉成リ、荒野モ亦開墾ニ就ク、陸羽街道ハ、阿久津ヨリ十八里ノ間二十三坂アリシガ、新道ヲ其西ニ開ク、太田原黒羽烏山及佐久山喜連川等ノ諸邑アリ、又那須鹽原ハ、其ニ温泉アリテ、浴客常ニ多シト云フ、

那珂川ハ、上流ヲ那須川ト云フ、源ヲ男鹿山頂ノ男鹿沼ニ發シテ、余笹川、黒川ヲ合セ、黒羽ヲ過ギテ、南ニ流レ、箒川ト相合ヒテ、水勢漸大ナリ、烏山ニ至リテ、又荒川ヲ合セ、東ニ轉ジテ、始テ舟運アリ、東境ノ山谷ヲ貫キテ、常陸ニ入ル、其流三十里、箒川ハ、箒根山ヨリ出テ、佐比川ハ、佐飛岳ニ發シ、各曠野ノ間ヲ環流シテ、太田原ノ南ニ會セリ、絹川ハ、白根

山陰ノ衣沼ニ發源シテ、五十里川ヲ合セ、南ニ流レテ、山圍ヲ出デ、大谷川ヲ合セテ、其流頗急駿ナリ、阿久津ヲ官道ノ渡津トナシ、以下漸行舟ノ利アリ、遂ニ下總ニ入リテ、利根川ニ會ス、亦其支源ニシテ、國內ヲ流ル、者二十里、古ハ毛野川ト云ヒシガ、轉稱シテ、今又鬼怒川ト呼ベリ、此川ハ、平野ノ中央ヲ流ル、者ニシテ、其東隅ニ五行川アリ、真岡ヲ過ギテ、常陸ニ入ル、即小貝川ナリ、○思川ハ、上流ヲ小倉川ト云ヒ、古峯原ヨリ來リテ、東ニ流レ、壬生ニテ、黒川ヲ合セ、漸下リテ、又姿川ニ會シ、小山ヲ過ギテ、出流澤赤間沼等ノ下流ヲ合セ、古河ニ至リ、渡瀨川ト、其ニ界川トナリテ、利根川ニ會セリ、

宇都宮ハ、奥羽街道ノ要路ニ當リテ、一萬五千ノ人口アリ、國中第一ノ都會ニテ、東京ト相距ル二十八里、而テ鑛道ヲ武藏ノ大宮ニ通ゼリ、北ハ磐城ノ白河ニ至ル二十里アリト云フ。○梁田天明、椽木鹿沼ノ諸邑ハ、卽例幣使街道ニシテ、太平出流諸山ノ東麓ニ傍ヒテ、日光ニ至ル二十里、椽木ヲ小都會ナル街市トナス。○東照宮ハ、日光山ノ南麓ニアリテ、廟社ノ結構ハ、實ニ金碧ノ莊嚴ヲ極ム。大谷川ニ山管橋ヲ架ケテ、鉢石町ニ接シ、宇都宮ト相距ル九里、其沿道ノ行杉ハ、鬱蒼高ク夾ミテ、亦行路ノ壯觀タリ。○足利ハ、古ヨリ學校アリテ、堂舍書籍、今尚存在セリ、蓋中古國學ノ遺校ニシテ、永享中、關東管領上杉憲實、大ニ講學ノ業ヲ興シ、書

冊土田ヲ納レテ、學生ヲ養フ、戰亂ノ世ニ、有志ノ士、コレヲ聞キテ、四方ヨリ來リ、相共ニ習學ノ業ニ就キシト云フ。此地ハ、梁田ト相接シテ、渡瀨川其間ヲ流レ、始テ舟運ヲ下流ニ通ズト云フ。

產物

關東第一ノ產ヲ、織物トナシ、桐生ハ王子ノ兩地、最盛ナリ、桐生ハ、縮緬、絁、縹ノ類ヨリ、綾織、畝織等ノ諸品アリ、ハ王子ハ、精巧織博多織ヲ、專業トナシ、五日市ニテ、黒ハ丈縮ヲ造リテ、五日市織ヲ通稱トナスニ至ル、其他ハ、秩父絹、足利絹、結城紬、玉川紬、伊勢崎太織、川和縞等ニシテ、常陸木綿、眞岡木綿、結城木綿、鉦子縮、川越平交、鹿沼麻、青梅綿等、皆共ニ其

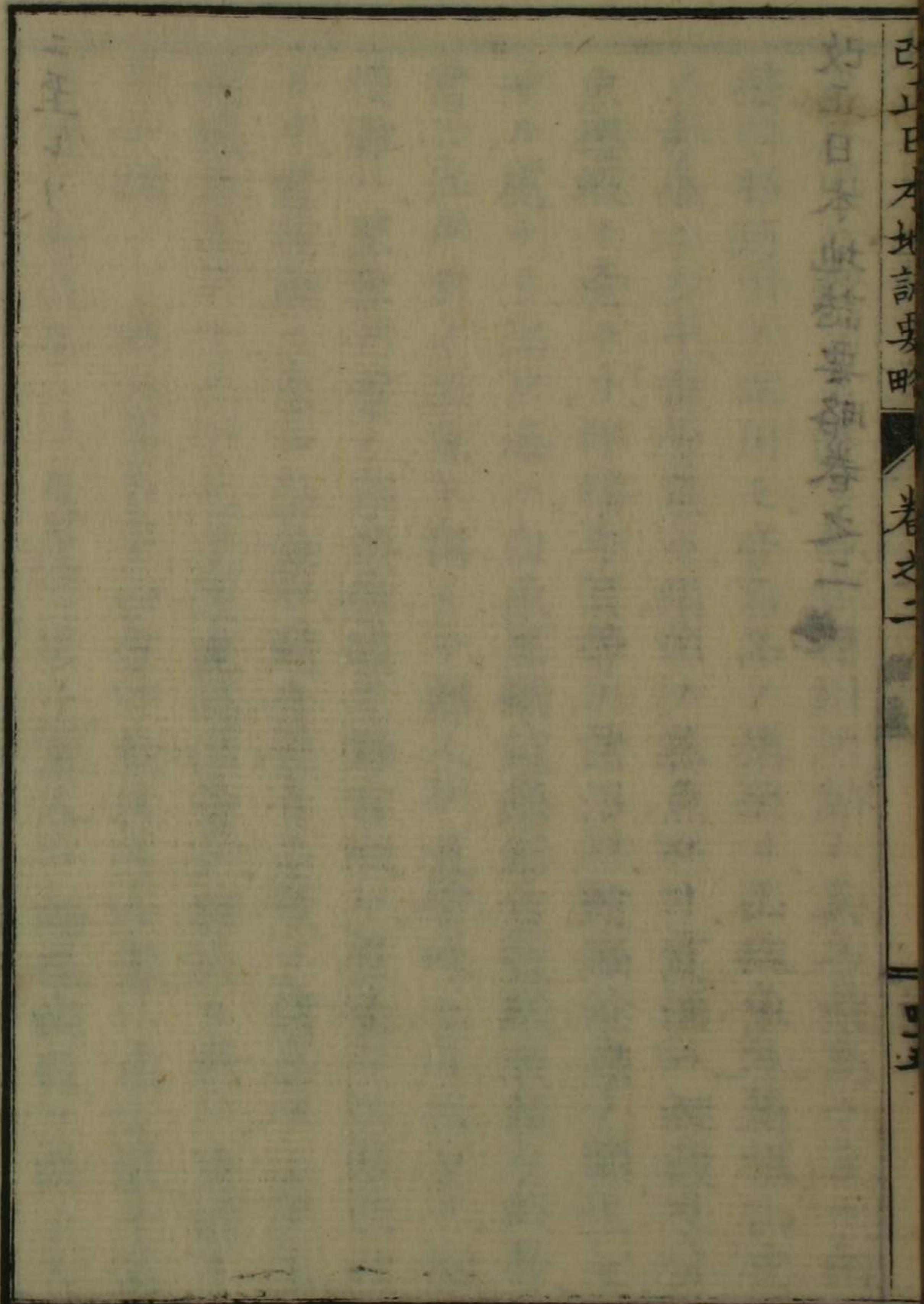
善良ナル者ナリ、生絲ハ、富岡製絲場ヲ第一トシテ、八州ノ
村里、養蠶ヲ業トセザル者ナシ、武藏野及兩總ノ原野ハ、盛
ニ茶ヲ培植シテ、製造頗多ク、狹山ノ産、最名品タリ、紙ハ、水
戸ノ西内程村、其質堅厚ニシテ、玉川唐紙、那須杉原等、又各
種ノ料ニ供スベシ、烟草ハ、上州ノ館沼田、常陸ノ赤土ヲ最
良トシ、秩父、那須モ、亦名葉ヲ出セリ、流山味醂、野田醤油、佐
原酒行、徳鹽、佐倉炭等ハ、下總ノ名産ニシテ、味醂、醬油ノ兩
品ハ、全國第一等ノ精釀トス、相摸ノ産ハ、小田原ノ梅干、鹽
辛、浦賀ノ水飴、鹿尾藻等ヨリ、湯本ニ挽物、細工アリ、江嶋ニ
貝細工アリ、大森ノ麥藁細工、川口ノ鑄物、今戸ノ燒物ハ、武
藏ノ産物ニシテ、川越、薯岩、槻葱、及杉田ノ梅干モ、亦各地ノ

佳味ヲ賞スベシ、水戸ハ、銅製ノ鍋、藥罐ヲ製シ、又膳盆ノ淡
塗ト唱フル者ハ、漆器中ノ良品タリ、日光塗、日光蕃椒、日光
蠟石ハ、一種ノ名物ニシテ、山中ハ、慈悲心鳥岩、燕及石楠、芥
折木、人參等ノ異品アリ、礦物ハ、秩父ノ銅、古來有名ノ礦場
ナレドモ、今休山トナレリ、足尾銅山、小坂鐵山、採切頗盛ニ
シテ、足尾ハ、又蠟石ヲ出シ、小坂ハ、殊ニ砥石ニ富メリ、寒水
石ハ、常陸ノ良材ニシテ、又慈郡ヨリ産シ、同種ニシテ、斑紋
アル者ヲ呼ビテ、紅葉斑、霜降斑等ノ稱呼アリ、又多賀郡ノ
石炭山モ、近年輸出頗多シ、房州沙ハ、細白ノ磨砂ニシテ、根
府川石ハ、庭園必用ノ石材タリ、下總ノ牧馬ハ、駿良ナラザ
ルモ、尋常負荷ノ用ニ堪フ、利根川ノ本流ハ、鮭ヲ名産トシ、

江戸川ハ鯉ヲ美鮮トス多摩川ノ鮎本其名最高クシテ相
摸川那珂川ノ諸川モ亦名品ノ稱アリ山椒魚ハ箱根山中
ノ奇蟲ニシテ黃骨魚ハ絹川ノ異魚タリ霞浦ハ鯉鰻及公
魚櫻蝦ノ産ナリ印幡手賀等ノ諸沼ハ鮎鮠鮪ノ類生ゼ
ザル處ナシ江戸海ハ白魚黒鯛鱸鱒鯉鰻鱧鰻鱧之蝦等
常ニ江戸前ノ生魚ト稱シテ都人ノ最賞味セル所タリ相
摸灘ハ堅魚ヲ賞シ鯛鱒鯉鰻及鎌倉蝦ヲ良産トス房州沖
ヨリ常陸灘ニ至ル沿海ハ鯖青魚青串魚ノ諸品アレトモ
鯛獵最盛ナリ九十九里濱鹿嶋浦等ノ網スル所ハ魚油ト
シ干鯛トシ榨粕トシテ四方ニ輸送スル者一歳ニ數十萬
石實ニ東海第一ノ良産ニシテ土人ハ鯛様鯛殿ノ諺アル

ニ至レリ

改正日本地誌要略卷之二



明治十一年六月十九日 原版々權免許
明治十二年三月廿二日 分版御届
明治十五年十一月七日 改正版權免許
明治十九年五月三十日 出版納本

每冊定價金廿錢

原版主
兼著述人

東京府平民

大槻修二

府下淺草區北富阪町廿五番地



出版人

大阪府平民

柳原喜兵衛

府下東區北久太郎町四丁目拾五番地



出版人

大阪府平民

三木佐助

府下東區北久寶寺町四丁目拾四番地



出版人

大阪府平民

岡島貞七

府下東區本町四丁目五拾九番地



冬川
風亭

覺悟

覺悟アル人ハ事ヲ廢シ臨ミテ敬ムカズ覺悟ナキ人ハ狼狽シテ
度ラ失フナリ一照ノ火ニテモ思ヒ空リザル時ニ當テレバ敬ムキテ
色ヲ愛ズ大ノ火ニテモ覺悟シテ注スレバ敬ムクコトナシ古ノ
書ヲ讀ミテ人ヲ物ノ正刑得失ヲ辨シ治亂興廢ノ迹ヲ
觀ク皆我が覺悟スルエヌナリ。道ニ古今無ク理ニ内外
無シ事迹ハ同ジカラザレドモ道理ハ三歸スルナリ

東京高等女學校

覺悟ナキ人ハ狼狽シテ度ヲ失フナリ

覺悟アル人ハ根根ヲマタリアハニル
大ノ火

正邪得失ヲ辨シ治亂興廢ノ迹ヲ觀ルハ皆我カ
覺悟スルエヌナリ。道ニ古今無ク理ニ内外無シ事
迹ハ同ジカラザレドモ道理ハ三歸スルナリ

入澤野子